



# 帝京大学小学校だより

帝京大学小学校

## 「孟母三遷の教え(もうぼさんせんのおしえ)から」

帝京大学小学校 校長 石井卓之

《「古烈女伝」母儀・鄒孟軻母から》孟子の母は、はじめ墓場のそばに住んでいたが、孟子が葬式のまねばかりしているので、市場近くに転居した。ところが今度は孟子が商人の駆け引きをまねるので、学校のそばに転居した。すると礼儀作法をまねるようになったので、これこそ教育に最適の場所だとして定住したという故事。教育には環境が大切であるという教え。また、教育熱心な母親のたとえ。三遷の教え。(出典 小学館デジタル大辞泉)

公立小学校の校長と併設の幼稚園の園長を兼務していたときのこと。園児は遊びの天才である。日頃から園庭にある全てのものを取り込み、見立てて遊びの幅を広げている。特に砂場は大人気であるが、その砂場が1年に1度、大いに盛り上がる日がある。それは、1年間で減った砂が補充される当日である。年長さんはその日が何時なのかを聞いてくる。「園長先生、今年は何時砂場に砂が入るの？」私はたまたま区役所から連絡が入って知っていた日付を教えた。すると、あっという間に伝言ゲームが始まり、全ての園児が待ちに待った日となる。子どもたちの降園後に砂が搬入されると先生たちの準備が始まる。普段は外されている水道のハンドルを取り付けていつでも水が出せるようにする、集めておいた葉をあたかも自然に落ちたように園庭にばらまく、普段は片づけてあるバケツや砂場道具を園児が取り出しやすい場所に置いておくなどの環境構成である。翌日、登園して砂場の中央にうず高く積まれている砂を見つけると、園児の気分は最高潮に達する。いつもなら時間をかけてダラダラと朝の支度をしている子が、別人のように目をキラキラと輝かせてものすごいスピードで準備を完了させ、砂場に飛び出していく。ふかふかの砂に突進する子、見つけたバケツで大きな山をつくりトンネルを掘る子、落ち葉や水を使ってお城をつくる子、一人一人が素敵なアートを展開していく。「園長先生、私ね、園庭の隅に落ちていた葉っぱを見つけたんだ。」「水道の水が出たから汲んできた。」園児たちは先生たちの環境構成をあたかも自分たちが自ら発見したという体でうれしそうに報告してくれます。子どもの活動を予測し、より豊かに展開できるように「環境を仕組む」ことは重要な指導技術だと考えています。



### えり先生とお別れです！

本校の英語教育に貢献いただいた伊藤(中込)枝里先生がご家庭の都合により、6月6日をもって退職されることとなりました。今年度は4年1組の副担任として、学級経営のサポートもお願いしていました。ご活躍をお祈りいたします。

### 今年度着任した先生です！

4月に着任しました。2年1組担任の小林胡桃です。子どもたちと楽しく学び、元気に遊び、一緒に成長できる環境を作りたいと考えています。また、子どもたちが安心して学校生活を過ごせるよう一生懸命頑張っていきます。どうぞよろしくお祈りいたします。



《教諭 小林 胡桃》



《教諭 河野 結》

4年3組担任の河野結と申します。子どもたちが、明るく、元気で、前向きに、色んなことに挑戦していく姿を見て、私も、明るく、元気で、前向きに、色んなことに挑戦したいと思っております。子どもたちと共に、「成長の道」を歩んで参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。